



# 健康づくり通信

長崎県は健康長寿日本一を目指しています！

第205号 令和4年1月  
長崎県北保健所  
長崎県平戸市田平町里免1126-1  
TEL:0950-57-3933 FAX:0950-57-3666  
ホームページ  
<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kenkodukuri/kenkozukuri-kenhoku/>  
※イラストは転載禁止

今月のテーマ

## 献血にご協力をお願いします！



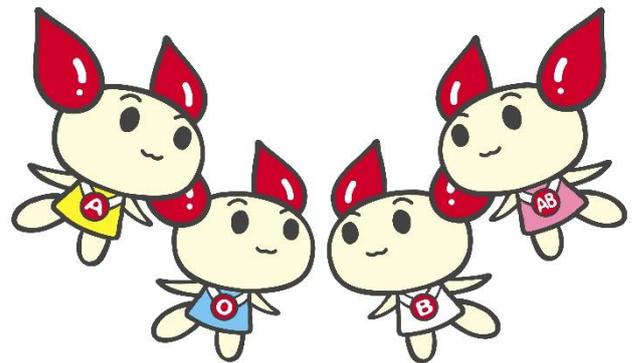
新型コロナウイルスの影響もあり、献血による血液の数はまだまだ少ない状況が続いております。コロナ禍にあっても1日に3000人の患者さんが血液製剤を必要としていますが、治療に必要な血液を集めるために、13000人の方からの献血が必要になります。血液製剤は人の血液なしには製造ができず、また長期保存も出来ません。大切な命を守るために、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

### 血液製剤の目的

献血によって集められる血液が、どのように医療現場で使われるかご存知でしょうか。一般的には怪我や事故などで輸血に使うイメージだと思われていますが、それはわずかな量であり、多くはがんや白血病などの治療のために使われます。

### 長崎県の献血状況

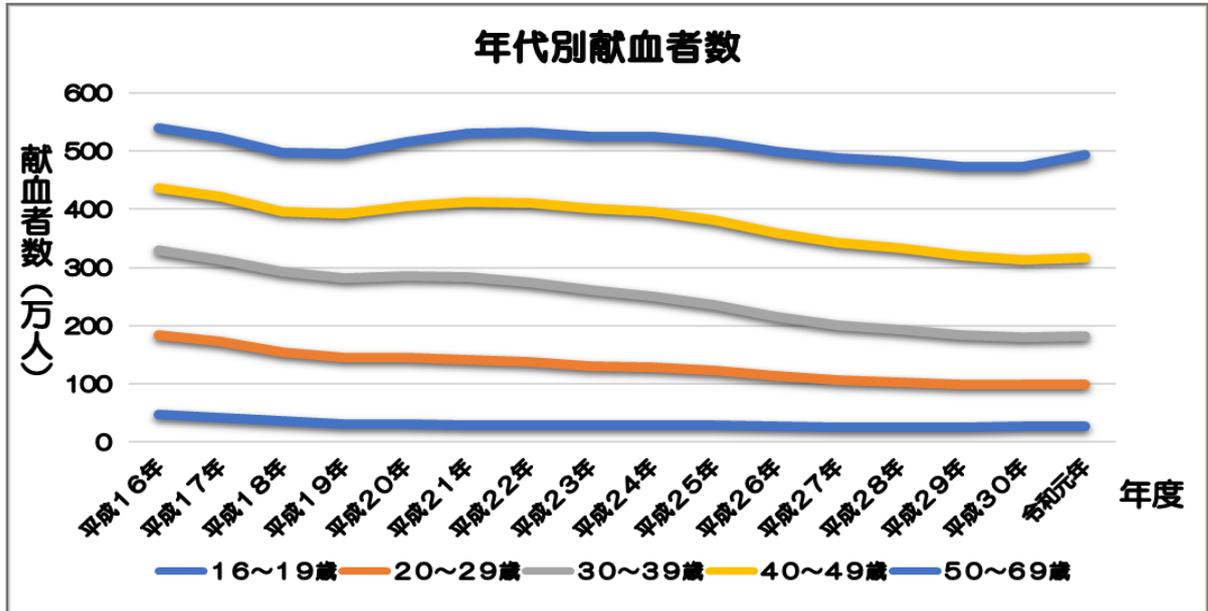
献血の種類は大まかに200mL 献血、400mL 献血、成分献血の3つに分けられます。このうち、令和3年12月現在、長崎県において400mL 献血と成分献血が不足しております。特に成分献血のうち、血小板献血は有効期間が4日と短いため多くの皆様の定期的な献血が必要となってきます。また輸血をする際、多くの方



の血液を用いるより、少ない人数で必要量の血液を確保する方が副作用等のリスクを下げられます。したがって、特に健康状態等に問題が無い場合は400mL 献血、成分献血のご協力をよろしくお願いいたします。

# 献血と少子高齢社会

献血は40代～60代の方々に支えられています。しかし若年層の献血者数は少ないため、少子高齢化がさらに進むと、血液の安定供給に支障をきたします。将来の医療を守る為にも社会全体での献血への意識改革が必要です。是非周りの方々と一緒に献血へ行きましょう！

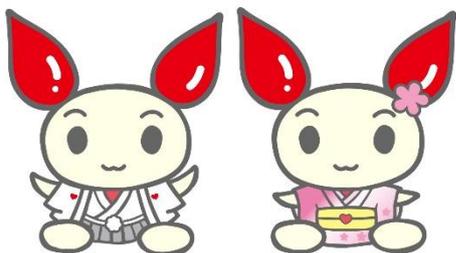


※出典：厚生労働省作成「年代別献血者数と献血量の推移」

## 1月・2月は「はたちの献血」キャンペーン月間です♪

今年も全国的に日本赤十字社と協力の下、「はたちの献血」キャンペーンを実施します。新たに成人を迎える「はたち」のみなさんを中心に献血運動を盛り上げ、思いやりの輪を長崎から広げていきましょう！

少しの思いやりで救える命があるっ  
ちよ！  
はたちの記念にやってみるっち！



### 献血Web会員サービスをご利用ください！

メールアドレスをご登録いただくと…

- ・全国すべての献血ルーム(常設施設)の予約が可能！
- ・ポイントを貯めて記念品と交換できます。
- ・血液の検査結果等を含む献血記録がいち早くわかる！
- ・過去の献血記録が確認できる！(平成17年4月以降)
- ・会員限定オリジナルデザインの献血カードに交換できる！
- ・メールやLINEで会員限定のお知らせやご案内、献血の依頼等が届きます。

ラブラッドで検索 🔍

## 献血ルームのご案内

長崎県には2か所献血ルームがあり、落ち着いた空間で献血にご協力いただけます。是非、お気軽にお立ち寄りください。

### ○献血ルーム「はまのまち」

住所：長崎市浜町 8-10 多真喜ビル 3 階（吉宗となり）

電話：095-824-3332

受付時間：10～12 時、13～17 時半（※定休日：木曜日）

### ○献血ルーム「西海」

住所：佐世保市上京町 6-16 佐賀銀行佐世保支店

オレンジアベニュービル5階

電話：0956-25-2440

受付時間：10～12 時、13～17 時半（※定休日：金曜日）



長崎から全国へ！  
みんなの命を繋ぐっち！